

2014年10月1日

電通、「スパイクス アジア 2014」において「エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」ほかを受賞

9月23日から26日、シンガポールで開催された「スパイクス アジア フェスティバル・オブ・クリエイティビティ 2014」※（Spikes Asia Festival of Creativity 2014）において、株式会社電通は「エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」に輝きました。



また、電通制作の「Sound of Honda / Ayrton Senna 1989」（本田技研工業株式会社）がデジタル、フィルム、アウトドア、プロモ&アクティベーションの4部門で、また「Mother Book」（葵鐘会）がデザイン部門で、電通ヤング・アンド・ルビカム株式会社との制作による「Banana Trophy」（株式会社ドール）がPR部門で、それぞれグランプリを獲得しました。

この他、当社グループは、13部門で金賞13個、銀賞18個、銅賞24個を受賞しました。

さらに、すべての部門の受賞内容を通して得た獲得ポイントにおいて、電通グループ（国内）は「ネットワーク・オブ・ザ・イヤー賞」で3位に入るとともに、株式会社電通クリエイティブXが制作プロダクションを対象とした「スパイクス・パーム・アワード」の3位に入りました。

なお、本フェスティバルには合計4,984作品のエントリー（全18部門）がありました。

当社グループの各部門における受賞状況は以下のとおりです（数字は受賞数）。

■スパイクス・アジア フェスティバル・オブ・クリエイティビティ 2014

- ブランデッドコンテンツ&エンターテインメント部門（金賞2）
- デザイン部門（グランプリ1、金賞2、銀賞2、銅賞3）
- デジタル部門（グランプリ1、金賞3、銀賞2、銅賞3）
- ダイレクト部門（金賞1、銀賞3、銅賞1）
- フィルム部門（グランプリ1、銀賞1、銅賞4）
- フィルム・クラフト部門（銀賞1、銅賞2）
- ヘルスケア部門（金賞1、銀賞1、銅賞1）
- メディア部門（金賞2、銀賞1、銅賞3）
- モバイル部門（銅賞1）
- アウトドア部門（グランプリ1、銀賞2、銅賞3）
- PR部門（グランプリ1、金賞1、銀賞1、銅賞2）
- プロモ&アクティベーション部門（グランプリ1、金賞1、銀賞2、銅賞1）
- ラジオ部門（銀賞2）

この他、電通グループのメディアエージェンシーは、グランプリ2個、金賞1個、銀賞4個、銅賞1個を受賞した作品にも関わっています。

以 上

※アジア太平洋地域（APAC）における高いクリエイティビティを誇るスパイクス アジア フェスティバル・オブ・クリエイティビティは、カンヌライオンズ、ドバイ・リンクス、ユーロベストなどのライオンズフェスティバルのオーガナイザーならびにキャンペーン・アジアパシフィック誌を発行するヘイマーケット・メディア社（Haymarket Media Limited）の協力によって運営されています。

応募作品はAPACで公開されていることが条件で、部門はブランデッドコンテンツ&エンターテインメント、クリエイティブ・エフェクティブネス、デザイン、デジタル、ダイレクト、フィルム、フィルム・クラフト、ヘルスケア（新設）、イノベーション（新設）、インテグレートッド、メディア、モバイル、アウトドア、PR、プリント、プリント&ポスタークラフト、プロモ&アクティベーション、ラジオの全18部門で構成されています。<http://www.spikes.asia/home/>